

# 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立東小学校

## 1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

- ・対全国比の平均正答率は、国語・算数とも全国平均を上回りました。
- ・国語では、子どもたちの「思考力・判断力・表現力等」のうち、「話すこと・聞くこと」の問題で良好な結果でした。これは、本校が校内研究で取り組んできた「根拠をもとにして、自分の考えを話す（相手の話を聞く）」学習活動の成果ととらえています。一方で、「書くこと」「読むこと」の問題や、記述式の問題では課題が見られました。
- ・算数では、「数と計算」「図形」「データの活用」の問題で良好な結果でした。特にグラフや表などを読み取って問題解決する「データの活用」の問題では、算数や社会、総合的な学習の授業の取り組みや、「力だめしプリント」の成果がうかがえました。一方で、「変化と割合」の問題では、比例や割合で課題が見られました。

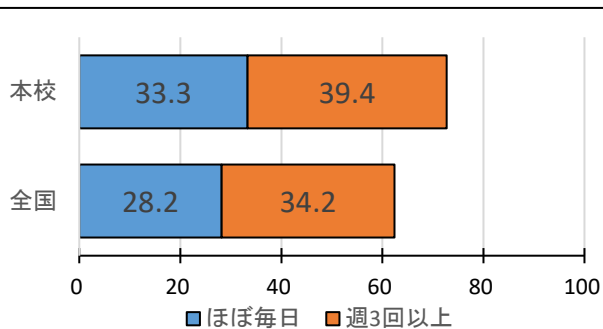
## 2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>・今回初めて全国調査で取り上げられた「情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う」問題の正答率が高く、授業におけるノート指導やタブレット端末の活用、「力だめしプリント」の成果がうかがえます。</li><li>・「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」問題の正答率が高く、限られた文字数で文章を要約する学習活動や、普段から全学年で進めている「読書活動」の成果がうかがえます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・記述式問題の無解答率が高く、「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」問題に課題があります。今後、授業や家庭学習で、複数の条件に沿って自分の考えを書く課題や、書いた文章を子どもたち同士で読み合う場面を設定し、「考えをまとめる力」を高めていきます。</li><li>・日常よく使われる敬語に関する問題で、特に謙譲語の理解について課題が見られます。</li></ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"><li>・どの領域においても、「知識・技能」の正答率が高く、良好な結果でした。これは、日常の中で算数的な事象を捉えたり、自ら問いを見出したり、課題解決する素地となるものであり、タブレットドリルなどを活用した復習や反復練習の積み重ねの成果がうかがえます。</li><li>・日常の生活場面を解釈して、筋道を立てて考えたり、その場面と式を関連づけ、算数的な表現を用いて解答したりする問題で正答率が高くなっており、算数的活動を大切にした授業の成果がうかがえます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・課題解決するための具体的な数値が示されていない場面で、必要な情報を見出したり、適当な数値をあてはめたりして考えることに課題が見られました。今後の授業では、問題を解決するための構想を立て、実践し、課題解決できたことを実感できるような場面を設定していきます。</li><li>・「数と計算」の領域で、加法、乗法が混在する計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる一方で、一の位が0の二位数の乗法の計算では、誤答が多く見られます。</li></ul>

### 3. 児童質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

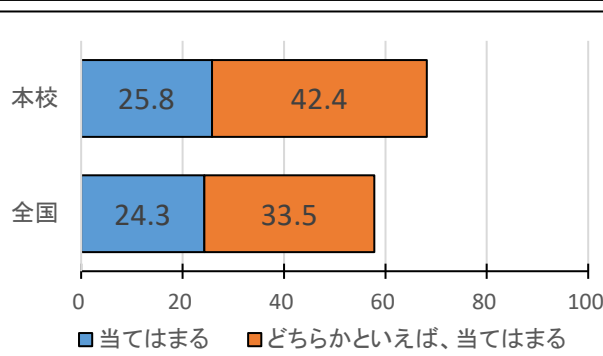
〈取組みの成果があらわれている、または特徴的であると思われる事項について〉

#### 29. 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



授業でPC・タブレット端末を使用している頻度が、全国平均値を上回りました。本校は今年度、府の「スマートスクール実現推進モデル校事業」の指定を受け、タブレット端末の効果的な活用を研究・推進しています。また、5・6年生の算数の授業では、子どもたちが教科書とデジタル教科書のうち、使いやすい方を選択して活用しています。

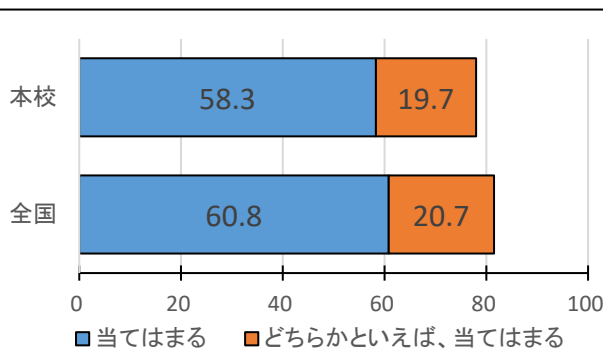
#### 25. 今住んでいる地域の行事に参加していますか



「地域行事に参加している」と肯定的に回答した子どもたちの割合が、全国平均値を上回りました。具体的には、校区にある狭山池で催されるイベントや、地区会・自治会主催の行事に参加している子どもたちが多いことがわかりました。これからも「ふるさとさやま」の行事に積極的に参加し、地域への誇りと愛着を育てていってほしいと思います。

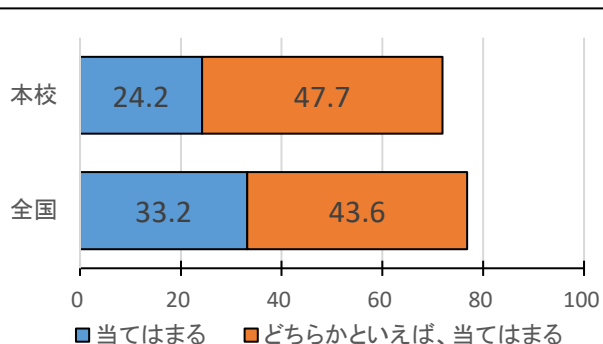
〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

#### 7. 将来の夢や目標を持っていますか



「将来の夢や目標を持っている」と肯定的に回答した子どもたちの割合が、全国平均値を下回りました。本校では、子どもたちが将来の進路選択に活用できるよう、学習活動や行事でがんばった感想を「キャリアパスポート」に綴り、蓄積しています。子どもたちが、自分が好きなことや興味あることを一層自覚し、将来の夢や目標につなげていけるよう、キャリア教育の充実に努めてまいります。

#### 26. 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と肯定的に回答した子どもたちの割合が、全国平均値を下回りました。今後のコミュニティ・スクール制度の導入を視野に入れ、子どもたちが地域の方々と出会って一緒に活動したり、思いを聞かせていただいたりする機会を充実させ、子どもたちの地域社会への貢献の意欲を育てていきたいと考えています。

#### 4. 成果と課題を踏まえた今後の取組みについて

##### (1) 授業・家庭学習における「複数の条件に沿って自分の考えを書く」学習活動の設定

前回の調査で国語・算数とも課題が見られた記述式問題について、今回は算数で改善傾向が見られましたが、国語では引き続き無解答率が高い問題がありました。このことから、わかったことや読み取ったことを、複数の条件（字数制限を含む）に沿って書く活動に苦手意識を持っている子どもたちがいることがわかりました。今後授業や家庭学習で、子どもたちが文章や資料を「読んで」、複数の条件に沿って自分たちの考えを「書く」学習活動を積極的に設定し、子どもたちの「書くこと」「読むこと」の力の向上に努めてまいります。

##### (2) タブレット端末の活用

本校は今年度、大阪府の「スマートスクール実現モデル校事業」の指定を受け、子どもたちの学力向上を図るためのタブレット端末の活用と校内研究を一体的に推進しています。今後も授業におけるタブレット端末の活用や、タブレット端末の持ち帰り学習を通して、子どもたちが主体的に学べるように、課題の設定や情報収集など、探求的な学びの実現に努めてまいります。

##### (3) 「力だめしプリント」の取組み

本校では、4・5・6年生を対象に「力だめしプリント（国語・算数）」を学期に1回行い、全国学力・学習状況調査で明らかになった課題について、子どもたちの力の伸びを確認する取組みを行っています。この取組の成果もあり、情報と情報とを関連付けて考察する力や、グラフや図・表などを読み取り、活用する力が向上してきています。今後も「力だめしプリント」の取組みを継続し、今回の課題に関わる出題を通して、子どもたちの学力の状況を確認し、授業づくりに反映していきます。

#### 5. 保護者・児童のみなさんへ

##### 〈保護者の皆様へ〉

全国学力・学習状況調査の結果から、これまでの本校の取組みの成果や、今後の課題が明らかになりました。成果に結びついた取組みについては、今後も継続・充実していくとともに、今後の課題と改善の方向性について全教職員で共有し、授業改善に取り組んでまいります。今回の調査では、国語・算数とも良好な結果でした。このことは、授業で学習した内容を、各家庭のご協力のもと、宿題等の家庭学習で定着できたことが、成果につながったものと考えております。今後も学校と家庭の連携を密にして、子どもたちの指導を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

##### 〈児童のみなさんへ〉

今回の調査で、みなさんの中には「今住んでいる地域の行事に参加している」人が多いことがわかりました。地域の行事に参加して、地域の特色や魅力に触れたり、地域の方々と交流したりすることは、とても良いことです。未来の「さやま」を担うみなさんには、これからも積極的に地域の行事に参加して、地域とのつながりを大切に、ふるさとへの誇りと愛着を育ててほしいと思います。そのうえで、みなさんの中から「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考える人が出てきてくれたら、とてもすばらしいと思います。

一方で、みなさんの中には、「将来の夢や目標」がわからない、まだ決まっていない、という人も多いようです。将来の夢や目標は、自分が「好きなこと」や「得意なこと」、「興味があること」「がんばろうと思うこと」などに打ち込む中で生まれてくるものだと思います。みなさんが自分の「好きなこと」や「興味があること」を大切に、自分らしく、いきいきと学校生活を送ってくれるとうれしいです。